

資料4－（２） 本校の作業の「記録・評価様式」
～産業科の場合～

温度… ℃ 湿度… %

平成26年2月3日（月）の様子

	マトリックスの観点	指導の重点	評価
1	【職業】	正しい手順や方法で作業を行い、集中力や作業に必要な体力などの基本的な能力を身につけさせる。	○
2	【職業】 【コミュニケーション】	あいさつ、返事、報告などの作業をするのに必要な基礎となる力を身につけさせながら、仲間と協力して取り組む姿勢を育てる。応対の仕方など基本的な行動様式を育成する。	○
3	【心と体】 【知識・技術】	健康・安全指導を徹底するとともに、整理整頓、清掃などの習慣を育成する。	○
4	【知識・技術】	生産から販売、納品までの流通過程の学習を通し、流通の仕組みを体験させ、働く喜びや意欲の向上を図る。	△
5	【自己理解】【職業】 【自己内省】	「作業強化日」「現場実習」を通し、自ら課題を理解するとともに、課題解決への意欲を高める。	なし
6	【職業】【知識・技術】	販売学習を通し、実践的な態度や勤労意欲を育成する。	なし

評価の基準 ○…達成できた ○…おおむね達成できた △…改善の必要がある

	個別の指導目標	手だて	評価	備考
生徒①	・指導者が説明した工程で作業に取り組むことができる。 ・仲間と協力して作業することができる。	・工程について、わからなくなった時や疑問があった時はその都度教師に伝えるようにし、正しい工程で取り組ませていく。 ・自分から相手に話しかける場面を設定していく。	・切りがわり作業。薄刃カッターで水平に切り取る工程で焦りを感じたようで、ガタガタになる。一度で切りだすのではなく、数度に分けて切りだすように伝えた。次回、線を水平にする工程。	
生徒②	・苦手な作業や場面でも気持ちを切り替えたり、安定して作業に取り組むことができる。 ・仲間とコミュニケーションを取りながら作業に取り組むことができる。	・作業前に本人にどのように取り組むかを確認させていく。 ・短く簡潔な表現を心がけるとともに、作業内容についての簡単な会話を交わたりしながら取り組ませる。	・目標を合わせた報告、返事ができず。指摘すると本人も戸惑いを隠せず。個別実習での成果と課題であることを伝える。本人も意識してみるとこたえる。	
生徒③	・相手がのぞましいと思う表情や態度で作業に取り組むことができる。 ・誰とでも素直に作業に取り組むことができる。	・のぞましい声の大きさや目線、姿勢など具体的に伝えていく。 ・注意をされる前に自分から意識して行動することを確認する。言い訳と受け取られるような答え方をした場合は指摘をしていく。	休み	
生徒④	・相手がのぞましいと思う声であいさつ、返事、報告を最後まで行う事ができる。 ・作業の状況を自分の言葉で相手に説明することができる。	・作業前に目標を確認させ、作業に対する集中力を高めるとともに、終了後によかった点を伝える。 ・自分の言葉で説明すべき状況を作り、自分の考えを伝える経験を積んでいく。	・声は大きくはないが、相手には伝わっている様子。西川と言葉を選びながら掃除の分担を話し合っていた。 ・日向と話しながら取っ手つけ。日向に取っ手つけのポイントを説明。日向も分かった様子。	
生徒⑤	・時間いっぱい早足で取り組むことができる。 ・気持ちを切り替え、安定して作業に取り組むことができる。	・移動を早くすることで、作業時間がより確保できる事を意識させていく。 ・工程どおりに作業したり作業後半になっても集中力を維持して取り組むように言葉をかけていく。	・切りがわり作業。指押しの力加減良い。石こう型から粘土を取り出すことができず苦戦。息を一口程に吹きかけて振ったように教える。 ・掃除の後半から足早に行動していた。	
生徒⑥	・のぞましい言い方とタイミングで声をかけ合いながら協力して作業を進めることができる。 ・製品づくりの技能を高めることができる。	・のぞましいやりとり方をその都度、教えていく。自分から行えた場合はほめる。 ・工程順や指の動かし方、力の入れ方などの見本を見せ、出来上がりに差が出ることを自覚させる。	・タイミング、時間の事を気にしながら動けるようになってきたのでスムーズに作業を進めることができる。焦ると掃除など雑になる傾向があるので丁寧さも忘れずに取り組ませる。	
生徒⑦	・仲間と声をかけ合いながら作業に取り組むことができる。	・清掃の時のように、本人発信の指示や報告、説明などを作業でも行うように伝える。場合によっては具体的な見本を見せる。	・作業時の仲間とのやり取りはみられない。掃除の時に水洗い場で声をかけられることが多い。主体的な自分発信の声が出ていない。 ・丁寧に作業できている。底板、一発で作ることができた。	
生徒⑧	・自分から相手に声をかけて作業に取り組む。 ・相手に聞こえる声であいさつ、報告、返事を行うことができる。	・本人から申し出があった時は、声をかけるべき相手やタイミングについて助言をする。 ・作業時間や作業目的を本人に自覚させ、作業に対する集中力を高めさせる。	・取っ手の付け方について多田にその都度質問していた。返事の声はもう少し大きくてもよい。 ・掃除の時はためらわなく行動。足早に動く姿も見られた。表情は真剣。	

～農業科の場合～

○学年 農業科作業学習 略案 (回目)

日 時：平成26年1月31日(金) 2～4校時

場 所：農場

指導者：小原(MT) 泉谷 T 加藤 T

農業科指導の重点(平成25年度)・本時の重点ポイント(最重点◎、重点○)

○	(1)	(1) 自立に必要な基礎的学力や社会人として必要なルール、マナー、礼儀を身に付ける。(知識・技術)
	(2)	(2) 栽培から販売までの過程を学習することを通じ、やりがいや生きがいを見だし実践的な労働意欲を高める。(職業)
○	(3)	(3) 整理・整頓・清掃の生活習慣を身に付けるとともに、健康・安全に気を付ける。(心と体)
◎	(4)	(4) 姿勢の保持、集中力、持続力、集団行動などの基本的作業態度を身に付ける。(職業)
	(5)	(5) 「作業強化日」「現場実習」を通して自己の課題を理解し、卒業後の職業自立に向けて自ら課題解決をしようと努力する姿勢を身に付ける。(自己内省)
	(6)	(6) 様々な作業体験を通して自己の理解力を高め、卒業後の職業生活への見通しを持たせ、自立への興味・関心を持つ。(自己理解)
	(7)	(7) ホームルームや他教科との連携を図りながら、社会人として必要なコミュニケーションの取り方を身に付ける。(コミュニケーション)

本時の活動：収穫物の調整と冬に向けての準備

本時の目標：社会人として必要なルールやマナー、礼儀を身につける。(1)

使った物をきれいに洗浄する習慣を身につける。(3)

基本的作業態度を身につける。(4)

本時の展開

配時	指導内容	学習活動
5分	集合・内容確認	・班長の号令 ・本時の作業内容の確認。
125分	プラグトレイの洗浄	・前回、自分の行ったトレイを確認し、洗い残した部分を確認させてから洗浄させる。 ・全てタタキで使ったトレイなので、自分が使った物は自分できれいにすることを意識させる。
10分	集合・反省	・日直の号令 ・本時の振り返りと反省

評価の観点

社会人として必要なルールやマナー、礼儀を身につけられたか。(1)

使った物をきれいに洗浄する習慣を身につけられたか。(3)

基本的作業態度を身につけられたか。(4)

授業記録 指導重点(1)→(○) (3)→(◎) (4)→(○)

プラグトレイの洗浄は、だいぶ慣れてきており各自でコツを掴んできている。使う道具や洗い方など以前に3年生から教えてもらったやり方の他に自分なりのやり方を考えて取り組んでいる様子が見られてきた。

個別記録(個別指導計画後期目標)

I	・予鈴が鳴る前に確実に集合することができる。 指導重点(1)→(○) (3)→(○) (4)→(△)	VI	・手早さを優先させて、丁寧さがおろそかにならないようにする。 指導重点(1)→(○) (3)→(○) (4)→(◎)
	作業中にトイレに行った。最近、時間内に早めに作業場に来るが、作業中トイレに行くことが1回はある。もう少し様子を見たい。予鈴には間に合った。		いち早く作業場に来て、皆の分のバケツを用意するなどしていた。トレイ洗いは、やり直しがなくなった。
II	・協力する場面では、自分から声をかけることができる。 指導重点(1)→() (3)→() (4)→()	VII	・積極的に作業に取り組む事ができる。 指導重点(1)→(○) (3)→(◎) (4)→(○)
	欠席		時間は掛かっているが、丁寧にこすっていた。仕上がりがかなりきれい。後は要領と手早さを意識させる。声が小さいため消極的な印象を受けてしまう。
III	・集中力を持続させ、気分に流されず作業に取り組むことができる。 指導重点(1)→() (3)→() (4)→()	VIII	・自分から気が付いて動くことができる。 指導重点(1)→(○) (3)→(△) (4)→(○)
	欠席		ペースが早くなってきた。トレイの底の汚れが落とすきれいでなく2回ほどやり直しをさせた。気が付いて動けるようになってきて、声かけも出来るようになってきた。
IV	・目上の人に対して適切な言葉遣いで話ができる。 指導重点(1)→(○) (3)→(○) (4)→(○)	IX	・受け身にならず、積極的に作業に取り組むことができる。 指導重点(1)→(△) (3)→(△) (4)→(△)
	自己点検は甘いが、一度やり直しをさせると次からはきれいな状態で持ってきて、やり直しがなくなった。道具をうまく使っている。言葉遣いに問題はなかった。		長靴を履く場所で立ちすくんでいた。ややしばらしてから作業場まで来たが、ガラス室に入らず。友人の誘いでようやくガラス室に入りトレイの洗浄を始めた。気持ちがその時により不安定。理由は話さなかった。
V	・周囲とコミュニケーションを取りながら作業を行うことができる。 指導重点(1)→(△) (3)→(○) (4)→(△)	指導の重点の評価：以下の観点で評価をして下さい。	
	トレイの洗い方の要領を掴んできている。ペースも早くなってきた。しかし効率よくできない。道具をうまく使えない。準備 後片付けで声かけなし。	◎：大変良くてきていた。 ○：できていた。 △：できていなかった。	

～生活家庭科の場合～

	マトリックスとの関連	指導の重点	12月4日	12月5日	12月6日	12月10日	12月11日	12月12日	改善の方向
(1)	職業	縫工、リサイクル、紙造、環境整備等の作業を通して興味関心の幅を広げ生活経験を豊かにすると共に、働くことの意義や喜びを理解する気持ち	○	○	○	○	○	○	
(2)	自己理解	現場実習・作業強化日などを通して自己の長所を知り課題を理解し、他者から受ける評価を受け入れる気持ちを育てる。	○	○	○	○	○	○	
(3)	自己内省	働くために必要な態度・習慣・集中力や注意力、課題解決に向けて努力する姿勢を育てる。	△	○	○	○	○	○	
(4)	知識・技術	作業学習や日常生活に必要な基本動作及び巧緻動作、協同動作の向上を図ると共に、社会のルールやマナー、礼儀を身につける力を育てる。	○	○	○	○	○	○	
(5)	知識・技術	安全に作業が取り組めるよう、道具等の取り扱いに気をつける力を育てる。	△	○	○	○	○	○	
(6)	心と体	ホームルームや他教科との連携を図りながら、望ましい生活習慣や健康を維持できる力を育てる。	△	△	△	△	△	△	
(7)	コミュニケーション	場の状況に応じた挨拶・返事・報告をする力や、必要な支援を他者に求めることができる力を育てる。	○	○	△	○	△	○	

	12月4日	12月5日	2013/12/6 紙すき55枚 液体9	2013/12/10 紙すき33枚	12月11日	2013/12/12 紙すき	特記事項
氏名 A	石けん作り 自分では全く準備できない。指示されたことをやる感じ。報告の言葉は覚えていてしっかり言えていた。	石けん削り 準備は削りの後でおいて見ながらやっている。石けん削りは1時間手を休めることなく集中してできた。掃除・片付けも自分から仕事を見つけてはいた。	ローラーかけ ローラーのかけ方をしっかり理解してスムーズに動いていた。失敗もなくとてもよかった。グラムがかわってホム生地の枚数もかわったが対応できていた。	ローラーかけ 集中してローラーがけをしていた。失敗もなく仕上がりがきれいにできていた。返事・報告も大きな声でできた。	封筒作り(56枚) 手早く封筒切りができていた。何度も真直ぐ切れていないことがあったが、次は気を付けるように言うと言った通りにできていた。報告はしっかりで	ローラーかけ	
氏名 B	出停	出停	出停	出停	出停	出停	
氏名 C	石けん作り 準備は自分なりに覚えていたが、不十分。型に入れる時に何度も紙をこぼした。	裁断・経量 裁断は、職員の指示を聞きながら手早く行うことができていた。28枚。経量では、計りの数字をしっかりと確認しながら手早く行うことができていた。38個。	液体せっけん作り 落ち着いて最後まで集中して作業していた。準備・工程・後片付けすべてに指示や声かけが必要だったが、二回からは一人でできていた。後片付けも自分から進んでしっかりできていた。	アクリル板洗い 準備はヒントを言わないうと分からない。集中して取り組んでいたが、やり方を自分流にすることが有り指導。	メモ帳作り 初めてのメモ帳作りだったがやり方を説明すると覚えその通りやっていた。報告もしっかりとできていた。パルプ切りも手を止めずに集中してできていた。	メモ帳作り メモ帳のサイズに切る裁断のやり方を覚えてきて解るまで集中して取り組めた。報告もしっかりとできた。	
氏名 D	パルプ切 ミキサー・パルプ切リ。上手くミキサーが割がせなのが見えなかった。落ち着きながら丁寧に作業をこなすことができた。パルプ切は集中して取り組むことができた。自ら報告することになった。	パルプ切 大きな声を出すこともなく、手を止めることもなく集中して切っていた。目が合うと「終わりました」を言うことができていた。	液体せっけん作り 落ち着いて作業していたが、準備・作業工程・後片付けすべてに指示や声かけをしないといけない行動に移るようになっていた。報告も声かけをしないとできなかった。	ばら袋作り 最初から不安定な様子。準備は声かけをしてやる。きつかけをしないと次の工程に切り組めない。自分から報告したことは1回だけ。後は、気づかずに黙って作業を続けていた。	型外し・洗い 型外しは手際よくほとんど外すことができた。石けん削りは言葉がけが必要部分があるが、集中して取り組んでいた。報告は自分からはできずに促されてからする程度。	封筒切り 箱の通り上手く切り取ることができた。切り終わった後報告するよう言うが、できない。封筒の柄を眺めている。声かけで報告を促すも時間がたつことが多かった。	
氏名 E	石けん作り 紙を見ながら準備。工程は覚えていて自ら取り組むことができる。型に入れる時にこぼすことあり。	石けん削り 準備や身支度もしっかりとできていた。石けん削りも集中して行い、手を休めることなくやっていた。掃除・後片付けも手早く無難にできていた。	紙すき 集中して行っていた。パルプの取り残しは前回より少なく、無難な行動もなく、後片付けまで手早くできていた。	紙すき パルプの取り残しはなく、やり直しも1度しかなかった。後片付けや掃除も黙々とこなしていた。	封筒作り(56枚) 全体を通して、集中して丁寧にやっていた。姿勢が見られた。テープ貼りは1枚ずつ貼ってしまいが多かったが、以降は気を付けて丁寧にやることができていた。箱の通りに折れずにあてはまることが多かった。	紙すき 非常に丁寧に紙造を行っていた。意図的に取り組んでいた。掃除も排水溝をきれいに洗っていた。	
氏名 F	石けん作り 工程をこぼしたり、余計な準備をしたり意識しないことをしている。	パルプ切 注意する点(同じ幅で切る)を確認して、でき取り超えさせるが、できていない注意を2回した。手を止めることはなく取り組んでいる。	ローラーかけ ローラーのかけ方をしっかり理解してスムーズに動いていた。失敗もなくとてもよかった。グラムがかわってホム生地の枚数にも対応できていた。切り位置を考慮していた。	ローラーかけ 最後まで集中していた。2枚ほどしわができてやり直しをしたが、それ以外はきれいにローラーがけができていた。	型外し・洗い 型外しは、残念なことに落ちる。ばらばら石けんが落ちてくるので気を付けていた。自分のパルプはすべて終了。報告はできた。石けん削りは非常に手際が良かった。型外し・洗い・パルプは落ちた。	ローラーかけ	
氏名 G	ミキサー・パルプ切 ミキサー・パルプ切。時間通りに作業に入っていたが、自分の仕事の準備ができていなかった。作業は最後まで取り組んでいたが、よく見ることがあり、切ったパルプは少なかった。	パルプ切 たまに手がとまることがあったが、2枚ずつの量を把握して作業ができていた。後片付けも自分から行っていた。	ミキサー 久しぶりで慣れていないことはあったが、すぐに通常の工程で作業ができた。ミキサーの水を入れる前にフラッシュボタンを押して、しっかり洗っていた。無難な動きも、掃除も周りをみて行っていた。	ミキサー 準備はしっかりとできていた。前回同様準備が水に入る前にフラッシュボタンを押して洗っていた。無難な動きも、掃除も周りをみて行っていた。	準備・掃除 準備・掃除の準備はしっかりとできていた。1つ切りの6分間が切れていた。後片付けは2枚曲がっていたが、それ以外は順の上ヘラで跡を付けられていた。	ミキサー 勢いよくミキサーからすき粉に押し込むため、水漏れが頻発することがあった。入れる力を減らすように指示し、その後はとどまらずに自分で判断できていた。	
氏名 H	名刺切り・計量 定規を正確に使うことや計りの数字が正確になることを確認して、全体を通しては、集中しており、丁寧に取り組むことができていた。名刺33枚、裁断50枚(5色×10枚)	名刺切り 集中して慎重に行うことができていた。1枚切りの時間を削っていた。早割りの時間を気にする様子はない。	名刺切り 正しく道具を使い丁寧に切れていた。手早さもよくなった。早割りの時間を気にする様子はない。	裁断 裁断したあとに1枚の型を切っている。裁断しているのを確認して、裁断をちゃんと合わせて切れている。裁断していることは自分では気づいていない。	封筒作り(56枚) 封筒切りは手早く意識して切れていた。1つ切りの6分間が切れていた。後片付けは2枚曲がっていたが、それ以外は順の上ヘラで跡を付けられていた。	封筒作り(13枚) 封筒切りは手早く意識して切れていた。1つ切りの6分間が切れていた。後片付けは2枚曲がっていたが、それ以外は順の上ヘラで跡を付けられていた。	